



## 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 EPSホールディングス株式会社  
コード番号 4282 URL <http://www.eps-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 巖 浩  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 折橋 秀三

TEL 03-5684-7873

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	38,187	17.0	4,953	37.7	5,174	39.6	3,158	100.6
27年9月期第3四半期	32,652	8.2	3,597	25.2	3,707	24.5	1,574	33.9

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 1,995百万円 (△14.3%) 27年9月期第3四半期 2,330百万円 (64.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	74.46	—
27年9月期第3四半期	42.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	50,412	34,008	66.4
27年9月期	39,387	23,590	59.0

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 33,475百万円 27年9月期 23,219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	8.00	—	10.00	18.00
28年9月期	—	10.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年9月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭 (創立25周年記念配当)

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	16.1	5,600	2.2	6,000	11.9	3,500	61.8	78.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年8月1日)公表しました「平成28年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社総合臨床ホールディングス、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期3Q	46,311,389 株	27年9月期	38,426,113 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期3Q	1,718,609 株	27年9月期	626,280 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	42,419,603 株	27年9月期3Q	36,999,544 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には持株会信託が所有している当社株式が平成27年9月期には230,500株、平成28年9月期3Qには152,200株含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
(1) 生産実績	12
(2) 受注実績	12
(3) 販売実績	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高は、国内CRO事業、国内SMO事業、及びGlobal Research事業の大幅増収により、前年同期比5,535百万円増の38,187百万円(17.0%増)となりました。連結営業利益についても、主に国内CRO事業とGlobal Research事業の堅調さに因り、前年同期比1,356百万円増の4,953百万円(37.7%増)となりました。

事業セグメント別内訳は次の通りです。

#### 【国内事業】

当社グループでは、国内事業は、国内CRO事業、国内SMO事業、及び国内CSO事業の3つのセグメントで展開しています。

#### ① 国内CRO事業

国内CRO事業は、イーピーエス株式会社、株式会社E P S アソシエイト、派遣型CRO事業の株式会社イーピーメント、及び医薬・医療系IT関連事業のイートライアル株式会社の4社で展開しています。

業務別でみると、モニタリング業務は、原価管理の徹底及びリソースの最適化を進めることで売上高、営業利益ともに計画を超過して推移しました。データマネジメント業務は、原価管理の徹底及びグループ会社との連携強化を推進し売上高はほぼ計画通り、営業利益は計画を超過して推移しました。

派遣型CRO業務は、リソース確保の遅れにより売上高は計画に対して未達となりましたが、営業利益は堅調に推移しました。医薬・医療系IT関連業務については、売上高、営業利益ともに計画を超過して推移しました。

その結果、国内CRO事業における売上高は前年同期比1,346百万円増の19,503百万円(7.4%増)となりました。営業利益は前年同期比762百万円増の4,880百万円(18.5%増)となりました。

#### ② 国内SMO事業

国内SMO事業は、株式会社総合臨床ホールディングス、株式会社E P 総合及び株式会社総合臨床メデフィの3社で展開しています。

平成28年1月1日付で経営統合を行った株式会社総合臨床ホールディングスのもと、平成28年5月1日付で株式会社イーピーメントと株式会社総合臨床サイエンスを合併、新たに株式会社E P 総合としてCRC1,000名体制、提携医療機関5,600施設を誇る業界最大規模のSMOをスタートさせました。合併によるシナジーを早期に実現するため、拠点・システム等の統合も積極的に実施しています。

その結果、国内SMO事業における売上高は前年同期比3,105百万円増の7,891百万円(64.9%増)と大幅な増収となりました。一方営業利益につきましては、統合に伴う一時的費用及びのれん償却等により前年同期比38百万円減の440百万円(8.0%減)となりました。

#### ③ 国内CSO事業

国内CSO事業は、株式会社E P ファーマラインにおいて展開しています。

業務別でみると、医薬CMRは製薬企業における営業効率化に対するニーズの高まり、及び訪問規制などMRを取り巻く状況が大きく変化している中、厳しい状況であるものの、医療機器CMR、PMS業務は堅調に推移しており、また同社の差別化要素であるD I (ドラッグインフォメーション)を中心としたC C (コンタクトセンター)業務も好調で売りに上げに大きく寄与しております。

利益面では原価管理、経費削減など改善を進めており、その結果、国内CSO事業における売上高は、前年同期と比較して、384百万円増の5,450百万円(同7.6%増)となりました。利益面においては、営業利益は、前年同期と比較して、63百万円減の231百万円(同21.4%減)となりました。

## 【海外事業】

海外事業は、Global Research 事業、及び益新事業の2つのセグメントで展開しています。

## ④ Global Research 事業

Global Research 事業は、E P S インターナショナル株式会社とその海外グループ会社で構成されており、中国を含む東アジア及び東南アジアを中心に展開しています。

売上高は、従来から実施中の日本・アジアでの大型案件が順調に進捗したこと、また新規プロジェクトの好調な受注により、前年同期比1,237百万円増の2,954百万円（72.1%増）と大幅増収となりました。また、営業利益は、売上高の大幅増に伴い、247百万円となり、前年同期比449百万円増の大幅増益となりました。

## ⑤ 益新事業

益新事業は、E P S 益新株式会社、益新(中国)有限公司及びその海外グループ会社で展開しています。E P S 益新株式会社は日本国内からの益新事業全体の管理及びサポート、益新(中国)有限公司は現地における事業の統括を行っています。

益新事業は、医療機器事業、医薬品事業、及び周辺サポート事業の3つの事業で構成されておりますが、主力の医療機器事業において、益通（蘇州）医療技術有限公司が扱うデジタルレントゲン検査機や画像フィルムなどの医療機器の販売はほぼ計画通りに進捗しています。

しかしながら、売上高は為替の円高の影響を受けたことにより、前年同期比150百万円減の2,793百万円（5.1%減）となりました。利益面においては、営業損失は、原価管理の徹底等により前年同期と比較して91百万円減少し、71百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、50,412百万円と前連結会計年度末から11,025百万円増加しました。

流動資産では、主に現金及び預金が2,559百万円、受取手形及び売掛金が562百万円、仕掛品が1,751百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が173百万円減少したことなどにより4,938百万円増加して34,578百万円となりました。固定資産では、主として無形固定資産が5,874百万円、敷金及び保証金が163百万円、その他の投資その他の資産が366百万円それぞれ増加した一方で、投資有価証券が56百万円、有形固定資産が163百万円減少したこと、貸倒引当金を96百万円計上したことなどにより6,087百万円増加して15,833百万円となりました。

負債の部においては、主に支払手形及び買掛金が136百万円、短期借入金が802百万円、その他の流動負債が2,645百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が2,137百万円、賞与引当金が722百万円、長期借入金が368百万円減少したことなどにより、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は16,404百万円と607百万円増加しました。

純資産の部では、資本金及び資本剰余金が10,526百万円、利益剰余金が2,330百万円増加した一方で、自己株式が1,458百万円の増加、為替換算調整勘定が1,125百万円減少したことなどにより、当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は10,417百万円増加して34,008百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が5,319百万円となり、売上債権の減少が1,564百万円、仕入債務の増加が260百万円、その他の流動負債の増加が950百万円あった一方で、賞与引当金の減少が795百万円、たな卸資産の増加が618百万円、法人税等の支払による支出が3,839百万円、投資有価証券売却益を196百万円計上したことなどにより3,328百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比1,191百万円増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が357百万円、出資金の払込による支出が379百万円、敷金及び保証金の差入による支出が99百万円あった一方で、投資有価証券の売却による収入が314百万円あったことなどの結果、448百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比646百万円減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に短期及び長期借入金の返済を5,776百万円、自己株式の取得による支出を1,011百万円、株主及び非支配株主に対する配当金の支払を828百万円行った一方で、短期及び長期借入れによる収入が6,202百万円あったことなどにより、1,168百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は1,100百万円の収入）となりました。

また、株式交換による現金及び現金同等物の増加額が1,113百万円あったことなどの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は17,096百万円（前年同四半期連結累計期間比2,970百万円増加）となりました。

なお、連結キャッシュ・フロー関連の主要な数値は、以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,136	3,328
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,095	△448
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,100	△1,168
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	293	△419
V. 現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,434	1,291
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	11,692	14,692
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	14,126	17,096
減価償却費	372	425
のれんの償却額	236	500

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成28年4月26日に公表いたしました平成28年9月期通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成28年8月1日)公表いたしました「平成28年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社はグループ経営の一層の充実・強化を推進し、グループとしての企業価値の更なる向上を図るため、平成28年1月1日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社、株式会社総合臨床ホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施しました。これにより第2四半期連結会計期間より株式会社総合臨床ホールディングス及びその子会社を連結の範囲に含めています。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法へ変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,968	16,527
受取手形及び売掛金	9,913	10,476
有価証券	762	589
商品	958	1,065
仕掛品	823	2,574
その他	3,279	3,405
貸倒引当金	△66	△59
流動資産合計	29,640	34,578
固定資産		
有形固定資産	3,010	2,847
無形固定資産		
のれん	928	6,837
その他	688	653
無形固定資産合計	1,616	7,490
投資その他の資産		
投資有価証券	1,916	1,860
敷金及び保証金	1,551	1,714
その他	2,457	2,823
貸倒引当金	△806	△902
投資その他の資産合計	5,119	5,495
固定資産合計	9,746	15,833
資産合計	39,387	50,412
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	894	1,030
短期借入金	615	1,417
1年内返済予定の長期借入金	704	704
未払法人税等	2,454	317
賞与引当金	1,707	985
受注損失引当金	21	21
その他	4,654	7,300
流動負債合計	11,052	11,776
固定負債		
長期借入金	3,178	2,809
役員退職慰労引当金	230	257
退職給付に係る負債	724	803
資産除去債務	390	449
その他	222	308
固定負債合計	4,745	4,628
負債合計	15,797	16,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,875	3,888
資本剰余金	3,593	12,107
利益剰余金	16,260	18,590
自己株式	△572	△2,031
株主資本合計	21,155	32,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	36
為替換算調整勘定	1,990	865
退職給付に係る調整累計額	7	19
その他の包括利益累計額合計	2,063	921
非支配株主持分	370	532
純資産合計	23,590	34,008
負債純資産合計	39,387	50,412

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	32,652	38,187
売上原価	23,254	26,442
売上総利益	9,397	11,745
販売費及び一般管理費	5,799	6,791
営業利益	3,597	4,953
営業外収益		
受取利息	61	28
消費税等差益	176	248
その他	225	143
営業外収益合計	463	420
営業外費用		
支払利息	25	25
貸倒引当金繰入額	151	95
為替差損	72	3
持分法による投資損失	91	56
その他	12	19
営業外費用合計	353	200
経常利益	3,707	5,174
特別利益		
負ののれん発生益	17	-
投資有価証券売却益	-	196
段階取得に係る差益	-	48
特別利益合計	17	244
特別損失		
関係会社株式売却損	-	4
投資有価証券評価損	11	-
減損損失	294	-
持分変動損失	-	95
特別損失合計	306	99
税金等調整前四半期純利益	3,418	5,319
法人税、住民税及び事業税	1,653	1,630
法人税等調整額	250	498
法人税等合計	1,904	2,128
四半期純利益	1,513	3,190
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△61	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,574	3,158

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,513	3,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△28
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	748	△1,052
退職給付に係る調整額	12	11
持分法適用会社に対する持分相当額	95	△125
その他の包括利益合計	816	△1,194
四半期包括利益	2,330	1,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,365	2,016
非支配株主に係る四半期包括利益	△35	△20

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額
	国内CRO事業	国内SMO事業	国内CSO事業	Global Research事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	17,523	4,768	5,038	1,676	2,928	718	32,652	—	32,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	634	17	27	40	16	896	1,633	(1,633)	—
計	18,157	4,786	5,065	1,716	2,944	1,614	34,285	(1,633)	32,652
セグメント利益	4,118	478	294	(201)	(163)	(149)	4,376	(779)	3,597

(注) 1 セグメント利益の調整額(779)百万円には、セグメント間取引消去等の27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(807)百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 「その他」の区分には、「BPO事業」、「その他事業」を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間に、「Global Research事業」セグメントにおいて、のれんの減損を計上したことにより、のれんの金額が294百万円減少しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額
	国内CRO事業	国内SMO事業	国内CSO事業	Global Research事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	18,174	7,822	5,432	2,912	2,780	1,063	38,187	—	38,187
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,328	69	17	41	13	1,026	2,497	(2,497)	—
計	19,503	7,891	5,450	2,954	2,793	2,089	40,684	(2,497)	38,187
セグメント利益	4,880	440	231	247	(71)	(44)	5,683	(730)	4,953

(注) 1 セグメント利益の調整額(730)百万円には、セグメント間取引消去等の68百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(798)百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 「その他」の区分には、「CPO事業」、「その他事業」を含んでおります。なお、第1四半期連結累計期間よりBPO事業はCPO事業と名称を変更いたしました。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、当第3四半期連結累計期間の事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、この変更により、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間に、当社を株式交換完全親会社、株式会社総合臨床ホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、「国内SMO事業」セグメントにおいて、のれんの金額が6,496百万円増加しております。なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算定された金額です。

### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成28年1月1日付けで当社を株式交換完全親会社、株式会社総合臨床ホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。これらにより、当第3四半期連結累計期間において、資本金が2,012百万円、資本剰余金が8,513百万円増加した結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,888百万円、資本剰余金が12,107百万円となっております。

当社は平成28年2月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式767,500株の取得を行いました。また、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております株式会社総合臨床ホールディングスが所有していた当社株式400,000株を同社から現物分配により取得しております。これらにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,458百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は2,031百万円となっております。

### (重要な後発事象)

当社は、平成28年6月28日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である益新（中国）有限公司が中国基因工程有限公司の株式を取得し子会社化することを決議しました。

#### (1) 企業結合の概要

##### ①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：中国基因工程有限公司（以下「中国基因」という。）

事業の内容：投資関連業務

なお、中国基因の子会社である上海華新生物高技術有限公司の名称及びその事業の内容は以下の通りとなります。

名称：上海華新生物高技術有限公司（以下「華新製薬」という。）

事業内容：医薬品開発・製造・販売

##### ②企業結合を行う主な理由

E P S グループでは、「日本と中国をつなぐヘルスケア専門商社」を目指す益新事業セグメントにおいて、従来から中国のヘルスケア市場での事業を行ってまいりました。また、益新事業セグメントでは、現在の中核である医療機器事業に加えて、中国におけるヘルスケアビジネスの領域で新たな有望事業・収益獲得の機会を探っております。

今般、当セグメントの中国医薬品医療機器業界における経営基盤を固めるため、華新製薬を子会社に有する中国基因の株式を取得し、子会社化することといたしました。

##### ③企業結合日

平成28年9月30日（完了予定）

## 4. 補足情報

## (1) 生産実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日) (百万円)		前年同期比(%)
国内CRO事業			
モニタリング業務		10,423	106.1
データマネジメント業務		6,683	104.9
CROその他業務		1,876	107.0
国内CRO事業計		18,982	105.7
国内SMO事業		9,526	199.8
国内CSO事業		5,430	107.8
Global Research 事業		2,629	150.7
益新事業		2,771	94.8
その他		1,094	152.5
合計		40,435	122.0

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。  
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

## (2) 受注実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)			
	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
国内CRO事業				
モニタリング業務	9,120	82.8	17,458	91.8
データマネジメント業務	7,408	99.1	16,355	103.8
CROその他業務	1,558	91.3	2,211	119.4
国内CRO事業計	18,087	89.5	36,024	98.4
国内SMO事業	7,461	136.2	18,187	207.9
国内CSO事業	5,294	88.8	6,527	114.8
Global Research 事業	2,904	88.7	5,657	102.3
益新事業	2,880	97.6	141	190.3
その他	1,376	194.9	1,573	1,282.9
合計	38,006	98.5	68,111	120.0

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。  
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

## (3) 販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日) (百万円)	前年同期比(%)
国内CRO事業		
モニタリング業務	10,371	105.4
データマネジメント業務	6,076	101.4
CROその他業務	1,726	102.4
国内CRO事業計	18,174	103.7
国内SMO事業	7,822	164.1
国内CSO事業	5,432	107.8
Global Research 事業	2,912	173.8
益新事業	2,780	94.9
その他	1,063	148.1
合計	38,187	117.0

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれていません。